

"ERIK SATIE"

EXCENTRIQUE PIANO & TALK LIVE VOL.5

～新たに発掘された資料が描く等身大のサティ像、あるいはもう一つのサティ論～
[ミニオペラ「ジュヌヴィエーヴ・ド・ブラバン」。ねじれた出自と数奇な運命に隠された真実]

柴野さつき

Piano & talk

尾島由郎

Electronics & talk

演奏曲目

エリック・サティ：ジュヌヴィエーヴのARIA（ピアノ独奏版）
星たちの息子・全曲版（抜粋） 他

6月26日(日)

開場 16:30

開演 17:00～

(2ステージ入替なし休憩あり 途中入場可)

MC 3,000 円 (1drink=600円～)
+2drink order

CAFE BEULMANS

お問合せ：info.cafebeulmans@gmail.com

TEL: 03-3484-0047

世田谷区成城6-16-5 カロザ成城2F

イベント日以外 営業時間

cafe time 15:00 -

bar time 19:00 -

火曜日定休



毎回、エリック・サティの大胆な新解釈を披露し等身大のサティ像に迫る「エキセントリック・ピアノ&トーク・ライブ」の第5回目。

サティ演奏家の第一人者であるピアニスト柴野さつきと、一貫してアンビエントミュージックの世界を追求する音楽家尾島由郎が演奏とトークでお送りします。

今回は、エリック・サティ（1866-1925）の死後、自宅のピアノの裏から発見されたミニオペラ「ジュヌヴィエーヴ・ド・ブラバン」にまつわる、ねじれた出自と数奇な運命がもたらす謎のストーリーを紐解きます。

「ジュヌヴィエーヴ・ド・ブラバン」とは、ヨーロッパに伝わる聖ジュヌヴィエーヴの伝説を主題として、サティが友人の詩人・コンタミーヌ・ド・ラトゥールが書いた台本を元に作曲したミニオペラ。この作品が初演されたのはサティの死後、パリのシャンゼリゼ劇場おこなわれた追悼公演の際に、たまたまマリネットを用いた演出で上演されたことから、長い間、人形劇のためのオペラであると信じられていました。また50年近くコンタミーヌが書いた台本が行方不明になっていたため、その全貌がなかなか解明されずにいた謎に満ちた作品です。

今回の「エキセントリック・ピアノ&トーク・ライブ」では、2010年に柴野さつきが、ピアノ演奏に加え、歌手や役者、ダンサー、手作りの影絵人形を登場させ、新しい演出を施して大好評だった日本に於けるピアノ版初公演の収録動画を上映しながら、新たな検証を加え「ジュヌヴィエーヴ・ド・ブラバン」の真の姿に迫ります。また後半では、「ジュヌヴィエーヴ・ド・ブラバン」と同様に、劇のための音楽である「星たちの息子・全曲版（抜粋）」をピアノとエレクトロニクスによる演奏で今に蘇らせる試みをお送りします。エリック・サティ生誕150年の喧騒を傍らに、「エキセントリック・ピアノ&トーク・ライブ」ならではの独自のサティ像を描き出す一時です。



柴野さつき

<http://www.satsukishibano.com/>

エリック・サティをはじめとする近代/現代ピアノ音楽のスペシャリスト。桐朋学園音楽科卒業。東京音楽大学ピアノ科演奏家コースで井口愛子に師事。卒業後に渡仏し、サティの研究家であり詩人でもあるピアニスト、J.J.バルビエに師事。多数のアルバム制作やコンサートを通じ、枠にとらわれない自由な演奏活動を展開している。最新作は、今まで前奏曲しか演奏されることのなかった未発表の大曲エリック・サティ「星たちの息子・全曲版」日本初のスタジオレコーディング盤をリリース。



尾島由郎

<http://www.yoshioojima.com/>

一貫してアンビエントミュージック/環境音の世界を追求している音楽家。代表作はSpiralのための環境音楽集「Une Collection des Chainons I & II」「HandsSome」(Spiral)、柴野さつきとのコラボレーションアルバム「Caresse」(Spiral)、「belle de nuit」(les disques des chainons)他。スパイラル(ワコールアートセンター)やリビングデザインセンターOZON、東京オペラシティ ガレリアを始めとする集客施設の環境音楽を多数制作し、サウンドデザインやサウンドシステムの開発にも関わる。